

令和 6 年 4 月 1 日

医療法人 森和会 森病院

看護職員の負担の軽減および処遇の改善に対する計画書

(目的)

1. 看護職員の負担軽減及び処遇改善委員会は、看護職員の負担軽減及び処遇の改善に努め、労働環境の改善を図ることを目的とする。

病床規模：193 床 看護職員合計 98 名+作業療法士 1 名（認知症治療病棟専属）

看護師：常勤 37 名・非常勤 7 名

准看護師：常勤 28 名・非常勤 6 名 看護補助者：常勤 17 名・非常勤 3 名

項 目	計 画	実 行	評 価
育児休業（0 名） 育児短時間就労〔2 名〕 産休（2 名） 介護休業（0 名）	・ 多様な勤務形態の取り入れ ・ 夜勤の免除 ・ 短時間勤務 ・ 夜勤 3 人体制（2F）（4F）	雇用確保 適切な人員配置 常勤・非常勤採用 2F・4F で 3 人 夜勤体制	基準人数は問題ないが、年度末に複数の退職者があった。 求人が思うように成果挙がらず。 4F 夜勤 3 人体制を R5.10～開始 看護職員数減のため R6.6 で終了
業務	・ 看護補助者の業務の明確化 ・ 看護補助の業務拡大 ・ 師長研修会 ・ 看護補助者の増員 ・ 他職種との業務分担 ・ 残業 0 を目指す	研修会参加 メッセージ 院外研修会参加 雇用募集 チーム医療の推進	看護補助者にキャリアラダー導入 各個人の獲得目標を明確にできた。 看護師・看護補助者ともに人員不足による疲弊・疲労が否めない。 今後は派遣業者・外国の就労者への働きかけも検討していく。
夜勤業務	・ 準夜～日勤の勤務は作らない ・ 負担のない夜勤勤務作成 ・ 確実な休憩時間の確保 ・ 救急輪番日負担軽減 ・ 看護補助者の夜勤サポート ・ 負担病棟の軽減 ・ 2 交替 ・ 夜勤 3 人体制（2F）	勤務表監査 同上 交代勤務 夜勤専従の導入 2・4F（3 人体制） 遅出 1 名増員 配置転換にて 夜勤看護補助者増員	夜勤業務にも人員不足が大きく影響している。夜勤可能な職員への回数増加による負担が大きい。 人員不足は日勤業務にも影響あり。 少ない人員での看護活動によって、職員個々への負担と患者の安全面への働きかけも困難。精神的ストレスも懸念される。
身体合併症	・ 専門性の高い疾病は 専門病院へ転院	本人と家族へ入院時に意向確認 家族との連携	早い段階での診断が必要とされる。 患者本人と看護者の負担軽減のためにも、家族と早期に相談が必要と考える